

第2章 農業編

1 農業編の概要図

基本方向

農業を担う「人づくり」、農業で輝く「モノづくり」、農業を支える「地域づくり」を柱に、「儲かる農業の展開」と「農村の活性化」を両輪とし、オール愛媛で、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指します

農業を担う「人づくり」

～えひめ農業を支える担い手を確保・育成します～

農業内外からの新規就農・定着の促進、女性農業者の確保・育成、担い手への経営継承支援、農業教育の充実、農業保険の普及啓発、外国人材やみかんアルバイト等多様な人材の活躍促進 など

農業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～

生産基盤整備の推進、農地中間管理機構による農地利用集積の推進、農産物の生産力強化、先端技術の活用、普及指導活動の推進、ブランド力向上、輸出力強化、6次産業化の促進、環境にやさしい農業の拡大、動植物防疫措置の強化 など

農業を支える「地域づくり」

～地域でつながるえひめ農業を目指します～

地産地消・食育の推進、多様な交流の促進、地域の共同活動の促進、荒廃農地対策、防災・減災対策、中山間地域の定住環境の整備、鳥獣被害対策の強化、関係団体との連携強化 など

各地域ブロックの取組

～12の地域ブロックで、それぞれの実情に応じた取組を推進します～

【四国中央（四国中央市）】

【西条（新居浜市・西条市）】

【越智今治（今治市・上島町）】

【温泉（松山市・東温市）】

【伊予（伊予市・松前町・砥部町）】

【久万高原（久万高原町）】

【大洲喜多（大洲市・内子町）】

【八西（八幡浜市・伊方町）】

【西予（西予市）】

【宇和島（宇和島市）】

【鬼北（鬼北町・松野町）】

【愛南（愛南町）】

【計画期間】 令和3年度～令和7年度

【主要指標】 農業産出額：1,200億円（現状維持）※新規就農者数・各品目生産目標等は関連計画に委ねる

【関連計画】 農業経営基盤強化促進に関する基本方針・果樹振興計画 など

2 取り組んでいく施策

(1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

多様な担い手の確保・定着を促進します

農業内外から意欲ある人材を積極的に取り込み、規模の大小や就農形態に関わらず、地域農業の中核を担う人材の確保・定着を図ります。

具体的な推進事項

- 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります
- 地域をリードする女性農業者を確保・育成します
- 次世代の担い手への円滑な経営継承を支援します
- えひめ農業を支える人材を育成する農業教育の充実を図ります
- えひめ農業をわかりやすくデータベース化し、就農・移住につながる情報を発信します

県、市町、JA 等が連携し、就農前の研修や就農後の早期の経営安定を支援するとともに、就農受入体制の整備・充実等により、UJI ターンなどを含む、農業内外からの新規就農と定着を促進します。

また、親子間・親族間はもとより、法人化や第三者への経営継承も含め、農地や施設等の経営資源が次世代のえひめ農業の担い手に確実に利用されるよう、経営形態に応じた計画的な経営継承を推進し、早期の経営安定化を促進します。

さらに、若い世代にえひめ農業の魅力を伝え、将来的に農業を職業として選択する人材を育成するため、農業大学校や農業高校等において、スマート農業技術や6次産業化、ブランディング、経営・販売戦略等、実践的・発展的な教育内容の充実やそのための施設・設備等の整備を推進します。



首都圏での就農相談会



就農研修の実施



農業大学校での実習



～将来のえひめ農業を支える、次世代の担い手を育てています！～

県では、担い手対策に前向きに取り組む JA 等と連携して、研修施設をはじめ、新規就農者の受入体制を整備し、就農準備に必要な研修を支援しとるんよ！
さらに！就農後も、安心して農業を続けられるよう、経営力・生産技術を補うための実践研修や農業用機械・施設の導入まで支援したり、えひめ農業の次世代の担い手のスタートをみんなで応援するけん！



多様な担い手の経営安定・発展を支援します

効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善や経営発展などの取組を促進し、将来、地域農業をリードする認定農業者やそれを支える多様な主体の経営を支援します。

具体的な推進事項

- 農業に力強く取り組む認定農業者を支援します
- 価格安定対策や農業保険の普及啓発などの経営安定対策を推進します
- 農業現場を支える多様な人材や主体の活躍を支援します
- 中小・家族経営など多様な経営体を支援します

将来、地域農業の核となり、えひめ農業を担っていく認定農業者をより一層確保するため、市町の認定に向け、前向きに頑張る農業者を積極的に支援します。

また、認定農業者が主体性と創意工夫を十分に発揮した経営を展開できるよう、規模拡大や販路開拓、経営所得安定対策、融資、税制などを重点的に支援するとともに、災害時のリスク等に備えて農業保険の普及啓発に努め、国内外の情勢変化に柔軟に対応できる、経営感覚の優れた担い手への早期レベルアップを促進します。

さらに、法人化や集落営農組織の設立・連携・合併などを促進するとともに、中小・家族経営をはじめ、経営の安定・発展を目指す多様な経営体を、栽培品目や生産規模などの経営状況や中山間地域等の地理的特性などに応じて幅広く育成・支援します。



認定農業者への支援



経営相談の実施



地域特産品の開発



地域特産品の販売



栽培品目別の指導



～わたしたちが主役です♪キラキラ輝く一次産業女子！！～

農業や林業や水産業に従事する 20～60 代の女性でつくる、「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」生産者同士の意見交換や、経営などのノウハウを学ぶ講座を通して、次世代リーダーの育成や女性の活躍の場を広げようと、2016年6月に発足したんよ！
女性ならではの視点で、愛媛の農林水産業の魅力もPRしながら、メンバーをどんどん拡大中やけん！



多様な人材の活躍を促進します

農業現場における多様な人材の活躍やサービスの活用を促進し、担い手の経営はもとより地域農業の維持・発展も支える、農業経営に必要な労働力の安定確保を実現します。

具体的な推進事項

- 外国人材やみかんアルバイトなど、多様な人材の活躍を支援します
- 多種多様な農業支援サービスの活用を促進します
- 農福連携による取組を支援します
- 農業の「働き方改革」を推進します

農繁期のアルバイトやボランティア等の短期労働力の確保をはじめ、特定技能制度等による外国人材の円滑な受入など、担い手の経営や地域農業の維持・発展に必要な労働力の確保に向けた多様な取組を支援します。

また、労働力不足の解消を目指し、地域における農作業受託組織の育成やドローン等の先端技術を活用した作業代行、機材のシェアリングやリースの推進など、多様な農業支援サービスの定着を促進します。

さらに、障がい者の農業現場での活躍を通じて、農業経営の発展と障がい者の自信・生きがいにつながる農福連携を推進するとともに、農業現場で多様な人材が魅力とやりがいを感じて働くことのできる環境づくりを推進します。



アルバイトへの作業説明



スリランカからの外国人材の受入



農福連携の推進



～やりがいピカイチ！「みかんアルバイト」！！～

毎年、日本一のみかんを届ける！やりがいのある仕事として「みかんアルバイト」を募集しとるんよ！

仕事の内容は、みかんの収穫・選別や積み込み・運搬など。

青く澄み渡る大空の下、収穫を待つオレンジ色のみかんの畑で、ぜひ一度働いてみん？



(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

えひめ農業の生産基盤整備を推進します

規模拡大や所得向上につながる農地・水利施設等の生産基盤の整備を推進することで、農業経営の安定化と、より一層の経営発展を支援し、産地の生産力を強化します。

具体的な推進事項

- 多様な担い手の規模拡大・所得向上につながる生産基盤整備を推進します
- 農業水利施設等の長寿命化と強靱化を推進します
- 人・農地プランを活用し、農地中間管理機構などによる農地の利用集積を推進します

意欲ある担い手の規模拡大・所得向上を後押しするため、市町、JA、農地中間管理機構等と連携し、農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減、高収益作物への転換等を目指した水田の大区画化・汎用化や樹園地の緩傾斜化・高機能化等の基盤整備を推進します。

また、中山間地域等の地域特性を活かした営農の確立や、近年、頻発化・激甚化する豪雨への対応など、地域の実情に応じたきめ細かな基盤整備を推進します。

さらに、ダム等の水源から各農地までの一連の農業水利施設の機能を安定的に発揮させるとともに、次世代へと継承していくために、施設の劣化状況等に応じた計画的かつ効果的な長寿命化対策のほか、施設の強靱化に向けた再編・統合や管理体制の整備を推進します。



水田の大区画・汎用化



高収益作物への転換支援



地域特性に応じた基盤整備



～未来へつなごう！みかん畑～

松山市北条の下難波地区で、みかん山の傾斜を緩くして、農家のみなさんが働きやすい、未来につながるみかん畑をつくりよるんよ。

新しくなったみかん畑では、若い農家の方々が「紅まどんな」など、美味しいみかんづくりにチャレンジするけん！



えひめ農業の生産力を拡大します

本県が誇るブランド農産物や産地の特色を活かした基幹品目等の生産振興に取り組み、急激に変化する国内外の消費動向に対応し、他産地との競争に打ち勝つ強靱な産地生産体制を構築します。

具体的な推進事項

- 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します
- 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます
- 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します
- 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します
- 主要農作物の種子の安定供給に努めます
- 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します
- 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます
- 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

国内の消費者・実需者ニーズや海外への販路拡大を見据え、本県が誇るブランド農産物や産地の特色を活かした基幹品目等の生産振興を核に、産地生産体制の強化を図ります。

また、高品質・安定生産技術や新品種の開発をはじめとした生産性・収益性の向上に資する研究開発の推進、気候変動に対応した技術開発・普及や、AI、IoT など先端 ICT 技術を活用したスマート農業などの導入を促進するとともに、その成果を基盤に出口戦略を見据え、県と市町、JA 等が連携して営農・普及指導活動を展開することで、足腰の強いえひめ農業の確立を目指します。



オリジナル品種の普及拡大



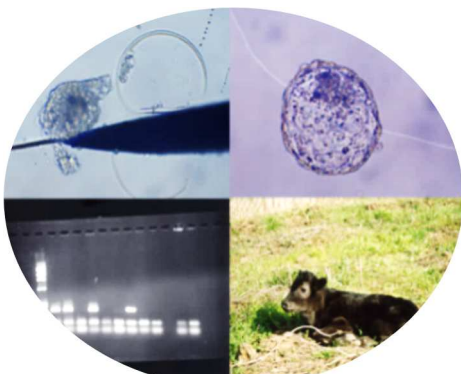
オリジナル品種の産地化支援



先端技術の導入支援



高品質・安定生産技術の普及



バイオテクノロジーを活用した効率的家畜増殖



新たな品種の開発



～みんな大注目！「柑橘王国えひめ」から、「紅プリンセス」が新登場！！～

県みかん研究所が、愛媛を代表する高級柑橘「紅まどんな」と「甘平」を親に、なんと、14年の歳月をかけ選抜した新品種！

「紅まどんな」の“ゼリーのような食感”と、「甘平」の“濃厚な甘み”という素晴らしい特徴を受け継いどるんよ！誰からも愛される「プリンセス」になるようにとの思いを込めて、その名がつけられた、みんな大注目の新品種の味に、今後乞うご期待やけん！！



えひめ農業の販売力を拡大します

ブランド農産物や産地の特色あふれる品目、加工品などの素晴らしい魅力を国内外に広く発信し、本県が誇る優れた愛媛産品の長を知り、そして選んでもらえる愛媛ファンを増やします。

具体的な推進事項

- 魅力あふれる愛媛の農産物のブランド力向上を図ります
- 輸出力を強化し、愛媛の魅力を世界に広げます
- 6次産業化などの農村発イノベーションを促進します

本県が誇るブランド農産物や産地の特色あふれる市場シェアの高い基幹品目など、えひめ農業が生み出す魅力と強みを最大限に活かし、ブランド価値を創造する取組を促進するとともに、国内の販路拡大を推進します。

また、成長著しいアジアをはじめカナダやEU等への一層の輸出拡大と新たなターゲット国への販路拡大を目指し、トップセールスをはじめとした戦略的な営業活動により、グローバルマーケットへ効果的にアプローチするとともに、相手国の検疫条件や残留農薬基準等への対応など、海外展開に向けた取組を推進します。

さらに、農業者自身のほか、地域や2次産業、3次産業等と連携して取り組む加工・販売等により、地域資源に新たな高付加価値を創出する6次産業化の取組を促進します。



知事によるトップセールス
(東京)



知事によるトップセールス
(カナダ)



台湾フェアへの出店



6次産業化商品の販売促進



商談会を通じたマッチング支援

～美しくつよく 華やかなお米「ひめの凩」が人気沸騰中！～

県農林水産研究所が16年の歳月をかけ、約31,000候補の中から美味しさにこだわって選び抜き育成したオリジナル品種なんよ！

注目すべき特徴は、
○大粒で透き通るような美しさ
○華やかな香り、しっかりとした噛みごたえ
○口の中ですっと広がる上品な甘さ
○炊きあがりツヤツヤ、冷めても美味しい
販売が始まるやいなや大人気のその味を、みんなにぜひ一度、味わってほしいんよ！



えひめ農業の魅力を拡大します

産地の維持・拡大に向けた取組を推進し、意欲ある担い手が魅力とやりがいを持ち、世代を超えて安心して営農を継続できる生産環境の整備を目指します。

具体的な推進事項

- 共同選果・共同販売体制を強化し、産地の維持・拡大を推進します
- 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

産地の維持・拡大に向けて、基幹施設である選果場や集出荷貯蔵施設等の再編整備、流通コストの低減等、共同選果・共同販売体制の強化に向けた取組を促進します。

さらに、担い手の生産拡大や次世代に受け継がれる産地づくりを後押しするため、ロボット、AI、IoT等の先端技術や5Gによる次世代通信インフラを活用したスマート農業の現場実装に向けた取組を推進します。



高性能なかんきつ選果場



AI選果機の導入実証



ドローン技術の導入試験



アシストスーツの導入試験



～これぞ未来のかんきつ生産のかたち！？スマート農業技術を実証中！～

南予地域は、日本一のかんきつ産地やけど、高齢化や担い手減少等、労働力不足によって、今後の産地の維持が危ぶまれとんよ！

やけん、これからも、日本一のかんきつ産地を維持できるよう、ロボット、IoT、AI等の先端技術を導入して生産から出荷までのスマート営農一貫体系を確立し、互いに団結しながら、若い人たちが喜んで後を継いでくれるような未来型柑橘生産を検討・実証中！



えひめ農業の安全・安心を確保します

農産物の安全・安心を確保し、消費につながる取組を加速させることで、拡大する健康志向や、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する環境にやさしい農業への関心の高まりなど、多様化する消費者ニーズに応えます。

具体的な推進事項

- 農薬、化学肥料等を低減した農業や有機農業など環境にやさしい農業の拡大に努めます
- えひめの農産物をグローバルスタンダードに高めます
- 食の安全・安心に関する取組を充実します
- 動植物防疫措置の強化に取り組みます

エコファーマー認証取得やエコえひめ農産物栽培の導入促進、さらには有機農業へのステップアップを支援するなど、農薬、化学肥料等を低減した環境にやさしい農業を拡大するとともに、その価値を消費者に伝え消費を促進します。

また、GLOBALG.A.P.等の国際水準 GAP の取得を促進し、環境保全や労働安全につながる生産管理や作業効率、経営意識の向上を支援するとともに、安全・安心度を客観的に高めることで本県農産物の競争力を強化します。

さらに、消費者のもとに、安全・安心なえひめ農業の食を届けるため、生産現場における農薬・肥料・飼料、動物用医薬品等の適正使用や動植物防疫強化に向けた取組を促進するとともに、県産農産物の農薬残留分析を実施するなど、科学的根拠に基づいた食の安全性の確保や表示の適正化等を推進し、消費者の信頼確保に努めます。



家畜防疫指導



エコえひめ農産物の販売



グローバルGAP指導



～ひと手間かけたけん！人にも環境にもやさしい「エコえひめ農産物」～

県では、化学合成農薬・化学肥料を県が定めた基準から3割以上削減し、生産情報の公表と適正な管理体制のもとで生産された農産物を「エコえひめ農産物」として認証！

信頼性抜群の県産農産物の生産振興と環境にやさしい農業を進めとんよ！



(3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

食と農の大切さを伝えます

食とそれを支えるえひめ農業・農村について、県産農産物の消費拡大や多様で魅力ある農村資源の活用による地域活性化を目指すとともに、県民の理解促進につながる情報を発信し、食と農の大切さを伝えます。

具体的な推進事項

- 地産地消や食育を進め、消費者と食・農とのつながりを深めます
- 地域の魅力を活かした多様な交流を促進します
- 匠の技・郷土料理・文化を次世代に伝承します
- 貴重な遺伝資源の収集・保存・供給・活用に努めます

次代を担う子どもたちをはじめ、県内の幅広い世代の消費者が、えひめ農業自慢の農産物を、より一層身近で親しみのある食材として感じられるよう、学校給食をはじめ、食育や農業体験など、食と農の大切さを学び・触れる機会づくりを促進します。

また、中山間地域や都市近郊の農地も含め、地域が誇る多様な資源を活用したグリーン・ツーリズム体験メニューや農林漁家民宿の充実を図ることで、都市と農村の交流にとどまらず、増大するインバウンド需要も呼び込み、えひめ農業を通じて地域活性化を目指します。

さらに、地域で代々受け継がれている郷土料理やお祭りをはじめとした伝統文化を、えひめ農業の財産として、次世代に着実に継承するための取組を推進します。



地元食材を利用した
「おむすびプロジェクト」



農業の魅力体験



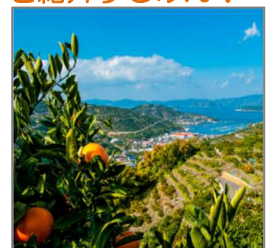
伝統料理の継承支援



～日本農業遺産に認定！「愛媛・南予の柑橘農業システム」を紹介するけん！～

日本有数のリアス海岸が連なる愛媛県の南西部、宇和海に面した地域は、200年もの昔から、先人たちが過酷な環境に立ち向かいながら、様々な創意工夫を重ねて発展してきた柑橘の一大産地なんよ！

美味しい柑橘の源泉であり「耕して天に至る」と絶賛の壮大な景観が広がる段々畑に、ぜひ一度足を運んでみんけん！



地域住民の連携を促進します

緑豊かで魅力ある里地・里山の多面的機能に誰もが気づき、えひめ農業・農村のかけがえない財産として守り続けることができるよう、県民意識の醸成を図るとともに集落活動の支援に取り組みます。

具体的な推進事項

- 住民交流や魅力発信など地域の活性化につながる地域住民主体の取組を促進します
- 地域資源の適切な保安全管理を行う地域の共同活動を促進します

美しい景観により心を豊かにしてくれるだけでなく、多様な生き物を育み、雨水を水田で一時的に留めることで、洪水や土砂崩れを防ぐ防災機能を有するなど、私たちの暮らしを支える農業・農村の多面的機能の大切さや魅力を広く発信するとともに、集落内外の組織や非農家の住民を巻き込んだ、地域連帯感の新たな醸成や地域コミュニティの発展を通じた豊かなふるさとづくりを支援します。

また、この多面的機能が適切かつ十分に発揮されるよう、日本型直接支払制度の積極的な活用を促進し、地域共同による農地や水路などの地域資源の適切な保安全管理活動を支援します。



地域の生き物探し



地域資源（ため池）の保全・管理



地域共同による草刈り



～棚田（たなだ）の良いところ広めるけん！～

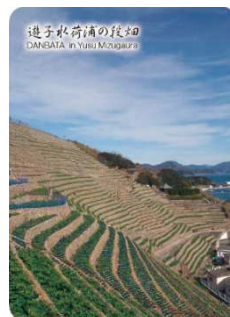
棚田は、食べ物をつくるだけでなく、きれいな景色を作ったり、生き物を守ったり、いろいろな役目をもつけん、みんなにぜひ伝えたくて「棚田カード」をつくったんよ。

道の駅などでもらえるけん、みんないっぱい集めて、棚田に遊びにきてね！

- ・天川の棚田（西条市）
- ・井内の棚田（東温市）
- ・榎谷棚田（大洲市）
- ・泉谷（内子町）
- ・奥内の棚田（松野町）
- ・遊子水荷浦の段畑（宇和島市）

■えひめの棚田

<https://www.pref.ehime.jp/h35400/furusato/index.html>



農地の有効利用を進めます

食料の安定供給を支える基盤であり、えひめ農業・農村の多面的機能の発揮に欠かすことのできない大切な農地の荒廃を防ぎ、有効利用につながる取組を支援します。

具体的な推進事項

- 地域の実情に合った荒廃農地対策を実施します
- 農地を省力的に管理する農業を促進します

日本型直接支払制度の積極的な活用により、地域・集落での将来の農地利用等に係る話し合いを促し、地域の実情に応じた農業生産活動継続への取組を支援することで、遊休農地の利用促進や荒廃農地の発生防止・解消に向けた多様な取組を支援します。

また、農業者や農村人口の高齢化・減少が進行するなか、農地を守るため、将来を見据え、農地の集積・集約を進めるとともに、省力化に有効な農業機械の導入や栽培管理方法の普及をはじめ、農地を省力的に管理する農業を促進します。



遊休農地の適切な管理支援



大型機械による荒廃農地の復活支援



省力化に有効な機械の導入



省力的な栽培管理方法の普及

快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

自然災害による被害を未然に防ぐ取組を推進するとともに、地域の特色を活かした営農と所得の確保につながる取組を支援し、農村地域における安定的な農業経営や、快適で安全・安心な暮らしを実現します。

具体的な推進事項

- 農村の防災・減災対策を推進します
- 中山間地域の定住環境の向上に向けた条件整備を推進します
- 地域の暮らしと農業を守るため鳥獣被害対策を強化します
- 地域の資源を活かした再生可能エネルギーの活用を促進します

近年、頻発化・激甚化する豪雨や近い将来発生が懸念される南海トラフ地震等による大規模災害に備えるため、ため池の改修や耐震化等のハード対策とハザードマップ作成等のソフト対策を適切に組み合わせ、計画的かつ総合的な防災・減災対策を県や市町、住民等あらゆる関係者が協力して推進します。

また、中山間地域での農業生産活動の継続と定住を促進するため、集落機能の維持・強化や生活環境の向上につながる条件整備を推進します。

さらに、地域の暮らしと農業生産活動を守るため、野生鳥獣の侵入防止柵の設置や、ICT等による効率的な捕獲技術の活用、捕獲やジビエ活用に携わる幅広い人材や関係機関等の一層の参画を促進するなど、地域ぐるみによる鳥獣被害対策を強化します。



ため池の改修



ハザードマップの作成



地すべりの防止



取水施設の強靱化



野生鳥獣の侵入防止柵の設置



イノシシ等を捕獲する大型檻



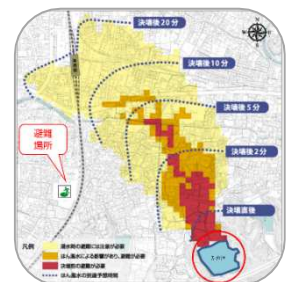
～危ないときは早く逃げるんよ～

日本全国、いろんなところで、毎年災害がおこってるけん、ため池が壊れた時に水につかるところを「ハザードマップ」でお知らせしよるけん。

万が一の時に、あわてず、安全に逃げられるよう、みんなの住んでいる場所の「ハザードマップ」を確認しとってね！

■ えひめのため池のページ

https://www.pref.ehime.jp/h35400/nouchibousai/ehime_tameike.html



関係機関・団体との連携を促進します

農業の枠にとらわれない「オール愛媛」体制による多様な取組を促進し、えひめ農業・農村の持続的な維持・発展につながる新たな可能性の創出を目指します。

具体的な推進事項

○ 食料・農業・農村に関する団体との連携を強化します

高齢化・人口減少が進む農村において、農業の担い手の不足や、これに伴う農地面積の減少など、厳しい農業情勢に打ち勝つため、JAグループや農業委員会、農業共済組合、土地改良区等との連携をこれまで以上に強化し、一体となって取り組みます。

また、農業分野のみならず、産（産業）・学（大学等研究機関）・官（地方公共団体）・民（NPO/地域住民）・金（金融機関）・言（報道機関）と連携した取組を積極的に行い、「オール愛媛」体制でえひめ農業・農村を盛り上げます。



えひめ愛フード推進機構がPRする
県産品を活用した「道後ロール」



えひめ愛フード推進機構が実施する
オンライン産地交流ツアー



大学等研究機関との交流会

～みんなで応援するけん！えひめ農林水産業の強い味方！“えひめ愛フード推進機構”～

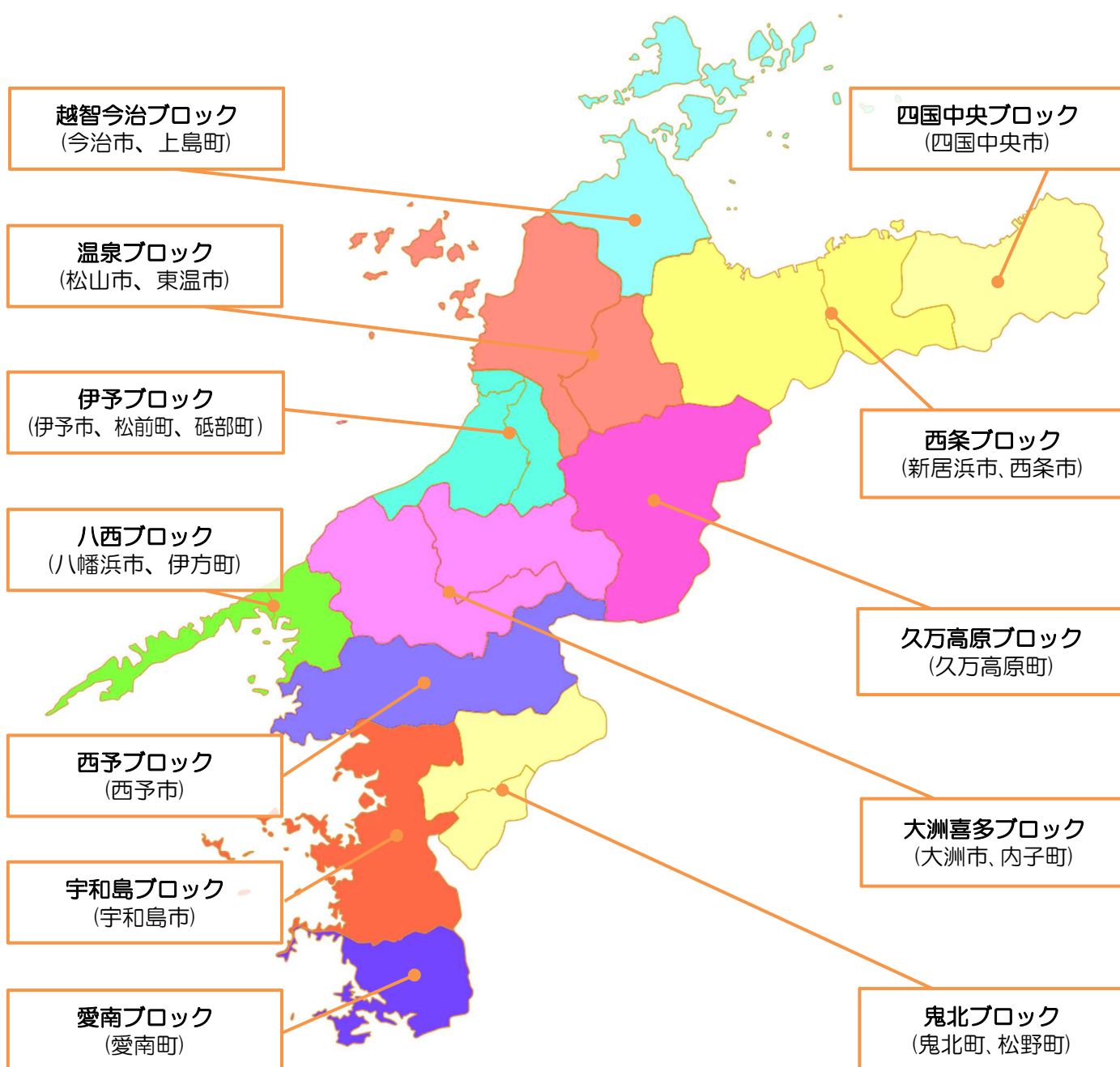
推進機構は、県と食にまつわる幅広い団体が、まさに！「オール愛媛」体制で、えひめ農林水産業を応援する、とっても強い味方なんよ！！

○えひめのブランド農林水産物及び加工品の認定
○新たな商品開発・販路開拓の支援
○地産地消の推進
○食育の推進によるえひめの食文化の伝承・発展に取り組むため、みんな楽しくて美味しいイベントもたくさん考え中やけん、楽しみにしてってね♪



3 各地域ブロックの取組

- 地域ブロック版では、県内全域を 12 のブロックに区分し、地域の実情に応じた農業振興及び農村活性化に向けた今後 5 年間の主な取組（目指すべき方向性）をお示しします。
- 新たな産地づくりや既存産地の再編強化を強力に推進するため、今後、地域の核となり地域を支える品目について、出口となる流通・販売を的確に見据え取り組む活動を「**産地づくり**」、また、担い手対策、生産基盤対策、鳥獣被害対策など地域農業を活性化させるために重要となる取組について、各地域の産地づくりのベースとなる活動を「**地域づくり**」として整理しました。
- ここでは、ダイジェスト版として、各ブロックの「**産地づくり**」「**地域づくり**」の概要をご紹介します。



① 四国中央ブロック

産地づくり

「さといも」「やまのいも」「茶」の産地が形成されています。しかし、高齢化や担い手不足により産地の維持・拡大が難しくなっているため、省力化を図り、高品質安定生産と出口を見据えた産地づくりを目指します。

地域づくり

地域農業を維持・発展させるため、四国中央市農業振興センター（四国中央市、JA うま、四国中央農業指導班等で構成）では、青年農業者をはじめ、認定農業者や女性、農業参入企業等多様な担い手を確保します。また、就農後も支援を継続することで、地域を支える農業者を育成し、鳥獣被害対策の強化や地産地消の推進等による地域づくりを進めます。



四国中央市
マスコットキャラクター
「しこちゅ〜」

四国中央市利用許諾第2-17号

さといも「伊予美人」

県育成品種「愛媛農試 V2 号（伊予美人）」は、多収で大きく、色白で、しっとりとした食感と優しい甘さが特徴。

9 月の中旬から収穫が始まり、和食・洋食にはかかせない食材として人気者です。



やまのいも「やまじ丸」

四国中央市産の県育成品種「やまじ王」を「愛」あるブランド産品「やまじ丸」という名称で売出中。外見からは想像のつかない白い肌と粘り強さが特徴。11 月中旬から収穫が開始。



② 西条ブロック

産地づくり

農地・水の保全と水田農業の推進に努めるとともに、消費者に求められる野菜・花きの生産振興及び落葉果樹を核とした果樹産地の復活を目指します。また、流通・販売を見据えて、安全・安心な農産物が安定供給できる農業を推進します。

地域づくり

重点課題として、①地域農業を支える担い手の確保・育成、②地域を元気にし、農業を支える仕組みづくり、③地域資源を活用した農業再生、の 3 項目を推進します。そのために、農福連携、鳥獣被害対策、6 次産業化、荒廃農地対策等を総合的に組み合わせた地域づくりにも取り組みます。

「アスパラガス」

周桑地区で土づくりにこだわって栽培されており、「緑のささやき（特選）」という商標で「愛」あるブランド産品にも認定されています。新規の生産者が増えているよ。

甘くて美味しい自慢のブランド産品



かき「太天」

周桑地区で産地化に取り組んでおり、1 個が 600g 以上にもなる日本最大級の渋柿。JA で渋抜きをしてから出荷されます。「福嘉来（ふくがき）」という商標でブランド化を図っているよ。

③ 越智今治ブロック

産地づくり

西日本豪雨災害からの復興とさらなる発展のため、かんきつ類などの果樹のブランド産地を目指し、県オリジナル品種や既存の主力品種を最大限に活かせる栽培技術の確立を強力に推進するとともに、生産技術の高位平準化にも取り組みます。また、県オリジナル品種等の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されている「オリーブ」や「醸造用ぶどう」など、生産者の所得確保・向上につながる品種・品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者や農業参入企業等に対し、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、グリーン・ツーリズムによる起業活動等を支援するとともに、女性の農業経営への参画を促進し、女性農業指導士とともに優れた女性経営者を育成します。さらに、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策など、地域を取り巻く課題に対応した支援を強力に展開します。

～地域農業を支える産地消費活動～

エコ栽培の積極的な推進や学校給食への地元農産物供給をはじめ県下を代表する産地消費の取組を実施しています。新たな産地消費の展開により、新型コロナウイルスにも負けない地域農業をつくっていきよるんよ。

また、産直市を核に、一般消費者用の「小麦」の需要開拓にも取り組み、「小麦」の栽培面積の維持・拡大に努めよるけん。



④ 温泉ブロック

産地づくり

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組みます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

～温泉ブロックの「かんきつ」～

ゼリーのようなとろける食感が特徴の「愛媛果試第28号(紅まどんな)」と、シャキシャキした食感に濃厚な甘みが持ち味の「甘平」は本県が育成したオリジナルかんきつ。温泉地区が県内最大の産地で、市場や消費者からも高い評価を得ており、贈答品としても大人気。この二つの品種を両親として生まれた、かんきつ界のホープ「愛媛果試第48号(紅プリンセス)」も、数年後には皆さんの食卓にデビューの予定です。



愛媛果試第28号(紅まどんな) 甘平

ほくたちの
おすすめです!



松山市 しまぼろ
「鳥に来てね」

東温市 いのどん
「野菜もどうそ」

⑤ 伊予ブロック

産地づくり

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。



～伊予市が誇る秋の味覚「中山栗」～

伊予市中山町は水はけがよく、昼夜の温暖差があり、栗栽培には適した地域です。

そこで丹精込めて栽培される中山栗は、大粒で濃厚な甘みがあり、県の「愛あるブランド産品」や「ますます、いよし。ブランド」にも認定されています。



⑥ 久万高原ブロック

産地づくり

生産者の高齢化が著しく進行するなか、夏季冷涼な気候を活かした夏秋野菜における新たな栽培者の確保・育成や生産技術の向上による産地振興を図ります。

また、単収の低い農家の要因分析とその課題解決に向けた対策の推進や技術指導強化等を図ることで、安定した生産量を確保するとともに、生産者の高齢化に対応できる省力化技術の導入や、労働力の確保対策を講じながら、産地の規模拡大を図ります。

地域づくり

就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。若い新規就農者には、青年農業者組織での活動を通して地域内外での仲間づくりを支援するとともに、スムーズな地域への就農と定着に努めます。

また、規模拡大を目指す農家等に対し、スマート農業等省力栽培技術の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化等を通じて農地の集積を図り、地域の担い手として育成します。

中山間地域の夏季冷涼な気象条件を活かした夏秋期の出荷品目の拡大や土地利用型作物（加工用野菜、雑穀、さといも等）の推進による農業所得の向上と地域の活性化を図ります。

営農に関する情報共有システムを構築し、映像によるリアルタイムな情報交換と現場の課題解決を図るため、高速情報通信網の活用を含めたスマート農業の導入を推進します。

～久万高原町の夏秋ピーマン～

久万高原町の「夏秋ピーマン」は、昼夜の温度差を活かした肉厚で果色の緑が濃いのが特徴です。また、ピーマン栽培農家は、エコファーマーの認定を受け、化学肥料や農薬の低減技術を導入・実践しており、環境にやさしく、信頼される産地づくりに取り組んでいます。



⑦ 大洲喜多ブロック

産地づくり

既存の主力品目の野菜等のほか、当地域を代表する落葉果樹（キウイフルーツ、ぶどう、くり、かき等）の生産体制強化に加え、新たなマーケットの開拓など出口戦略を見据えた取組を進め、産地ブランド力の向上に努めます。また、適地適作を基本とし、省力化や集約化を積極的に推進し、収益性の高い品目導入や栽培技術の高位平準化を図り産地基盤を強化します。

地域づくり

高齢化が進む中、多様な担い手を育成・確保するため、関係機関が連携したサポートチームの活動を拡充し、新規就農研修や受入体制の充実・強化に取り組みます。荒廃農地の解消のため、農地中間管理機構との連携により、担い手農家や農業法人への農地集積・集約化に向けたマッチング活動を強化します。

さらに、儲かる農業の実現に向け、中山間地域での基盤整備による農地の集約化で生産性を向上させ、省力化や高収益化を図るとともに、地域単位での営農承継を目的とした集落営農法人の設立支援を通じて地域農業の維持・発展を目指します。



～農と自然や歴史・文化が融合するグリーン・ツーリズム～

歴史が古く文化遺産も数多く残る当地区では、地域資源を活かした体験型農家民宿、「ぶどう」や「なし」観光農園など、グリーン・ツーリズムのメニューがたくさん。内子町御祓（みそぎ）地区にはその名のとおり疲れた魂を癒してくれるスポットが多く、紅葉滝もそのひとつ。街並み散策や美味しいフルーツを堪能した後は、滝に打たれて心と魂を御祓いすれば、身体も気分もきっと軽くなるけ～ん。



⑧ 八西ブロック

産地づくり

「美味しいみかんづくり」と「連年安定生産による生産量確保」を、生き残りをかけた産地の目標として掲げ、消費者はもとより「かんきつ」を取り巻く関係者に信頼されるブランド産地を維持できるよう、「うんしゅうみかん」の売上 100 億円、特産「清見」などの中晩柑類の売上 50 億円の目標を連年で達成していけるよう、組織連携を強化して「柑橘王国えひめ」を支える日本一のブランド産地の維持・発展を目指します。

地域づくり

地域農業者が主体となった就農支援チームを各地区に設立し、移住就農者を確保・育成するとともに、集落営農法人の設立支援や新規就農者、大規模認定農業者、法人経営体の育成を通して、全国有数のかんきつ産地を次世代に継承します。

また、集落機能を維持するために、地域資源の保全活動はもとより、担い手の負担軽減を図るための安定した労働力の確保に向け、働きやすい農村環境を整備します。



～みかん産地の PR 活動～

○2018 年 11 月から「西宇和みかん」の品質を保証する統一ロゴ「N マーク」の表示で出荷を開始しました。JA から出荷される「うんしゅうみかん」は新デザインの「N 箱」に統一され、段ボールや店頭販売の袋、店頭ツールなどで産地を PR しています。

～6 次産業化や農商工連携の取組～

○2019 年 5 月には、八幡浜市で日本初となるダルメイン世界マーレードアワード&フェスティバル日本大会が開催され、1,600 点を超えるマーレードの出品がありました。この大会の入賞者の中から、法人化へ発展する取組もあり、「かんきつ」を活用した商品開発が進んでいます。

⑨ 西予ブロック

産地づくり

県育成品種等や基盤整備地に導入する戦略品目等を基幹品目として、気象や立地条件など地域の「強み」を活かした生産体制の強化を図るとともに、今後新たな産地化に向けた品目等について、市場情勢の変化への対応やマーケットの開拓など出口戦略を見据えた生産振興と、それを維持するための労働力確保等中長期的な産地づくりに取り組みます。

また、県内最大の畜産産地として、公共牧場を活用した優良後継牛の増頭や自給飼料の増産に向けた生産体制の整備・拡充を積極的に推進するとともに、ブランド畜産物の生産拡大や補助事業の活用による施設・機械整備等を通じて、産地の維持・発展に取り組みます。

地域づくり

担い手不足と荒廃農地の増加を解消するため、生産基盤の整備を進めると同時に、担い手への農地集積と生産性の向上を図り、地域が一体となって農地を継承していくシステムを構築するとともに、生産基盤のない新規就農者をサポートするなど、農家子弟を含めた幅広い担い手の育成に取り組みます。



～ジオの恵みを活かした6次産業化の取組！～

「大豆」「かんきつ」「ゆず」「くり」「いちご」「トマト」といった農産物に付加価値をつけたオリジナリティあふれる6次産業化産品が誕生しています。

また、地元のトマト農家のお母さんたちが運営する農家レストラン「食堂ゆすかわ」（城川町遊子谷）や、奥伊予工房が運営する団体客向け「ジオ・キッチン」（道の駅どんぶり館）では、旬の地域食材をふんだんに使った食事を提供しています。ぜひ、ご賞味下さい！



⑩ 宇和島ブロック

産地づくり

西日本豪雨災害からの復興と被災前よりパワーアップしたかんきつ産地を目指し、基幹品種（南柑 20 号等）と多彩な品種の組み合わせによる周年供給体制に加え、農地の集積や高品質生産技術の実証・普及、新品種の導入等を進めるとともに、農家の所得向上を目的に、水田を有効利用した「さといも（伊予美人）」の産地化や「ブラッドオレンジ」の国内 No.1 産地の維持・拡大など、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

地域づくり

農家の高齢化が進み、担い手不足が深刻化する中、集落営農組織の設立や意欲のある経営体の規模拡大を図るほか、農業団体による営農活動や進出企業による生産活動、女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど多様な担い手が活躍できる地域づくりを進めます。また、家族経営協定の推進により家族ぐるみで経営に参画し、夢を実現できるようメリハリのある経営や労務管理の取組を推進します。地域の鳥獣被害対策や荒廃農地対策も進め、安心して農業に取り組める地域づくりに努めます。



宇和島市PRキャラクター
伊達にゃんよ

～イタリアが薫る深紅の果実「ブラッドオレンジ」～

- * インパクトのある真っ赤な果実。赤い果肉の秘密は、ワインなどに多く含まれるアントシアニンです。
 - * コクのある甘さ、芳醇な香り、すっきりとした酸味と豊かな風味。ジュースも美味しいよ。
 - * 「タロッコ」と「モロ」の代表的な2品種があります。
- HP: <http://www.blood.orange.jp/>



⑪ 鬼北ブロック

産地づくり

「水稻」は、新品種の導入や主食用米の需要に即した生産に努めるとともに、スマート農業を推進し、生産振興を図ります。果樹では、特産の「ゆず」について地域品種の普及を図り、「くり」「もも」については、(株)源吉兆庵への安定供給を実現します。また野菜においては、「きゅうり」の産地復活を後押しし、需要拡大が見込める軽量野菜生産の振興を図るとともに、農地の整備を進め、新たなビジネスや地域特産品の開発についても取り組みます。

地域づくり

規模拡大に伴う省力化技術の普及を図るとともに、経営多角化や集落営農の組織化により、中山間地における「水稻」を中心とした農業経営の安定と地域農業の維持・発展を目指します。また、農業支援センター等と連携し、認定農業者や女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど、多様な担い手が活躍できる地域づくりを推進します。また、荒廃農地拡大の最大要因となっている鳥獣被害対策に取り組むとともに、獣肉資源(ジビエ)の有効活用に努めます。豊かな自然や食材等の地域資源を活用して都市との交流を促進します。



きほくんときじのすけ(鬼北町)

とげの少ないゆず「鬼北の香里(きほくのかおり)」



本県の「ゆず」は全国第3位の生産量で、うち南予地域が9割を占めています。鬼北町で発見されたとげの少ない「ゆず」が平成25年に種苗登録され、鬼北管内で普及しています。



のぶしくんと
いよびじんちゃん(松野町)

⑫ 愛南ブロック

産地づくり

主力品目「河内晩柑」を中心としたかんきつ産地の維持・発展を目指し、生産基盤や生産体制の強化を図りつつ、多様化する消費者ニーズに対応した加工品の開発や新たなマーケット開拓など出口を見据えた販売戦略を進め、ブランド力向上に取り組めます。また、水田の有効利用と農業所得の向上を目指し、長期安定出荷ができるブロックリー産地づくりや、地域の特色を活かした高収益野菜の振興と定着に取り組めます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や新規参入企業等の定着支援に取り組めます。優良な農地を維持・活用するため、中心的経営体や集落営農組織の育成・法人化を進め、地域農業基盤と地域コミュニティの維持を図ります。また、女性の起業活動や農業経営への参画を支援し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムやイベント等に取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。



～「河内晩柑」の果皮に多く含まれる機能性成分「オーラプテン」～

愛媛県と松山大学、愛媛大学、(株)えひめ飲料の研究グループは、連携して「オーラプテン」を豊富に含んだ「河内晩柑」の果汁入り飲料の製造方法の研究を進め、愛媛大学医学部附属病院で高齢者を対象としたヒト介入試験を実施した結果、認知機能の維持、改善に効果があったと報告されとるんよ。

